

< もくじ >	
1. 2025年度研究会合同イベント開催案内	1
2. 研究会からのお知らせ	1
3. 各研究会の概要報告	3
4. 事務局からのお知らせとお願い	5

1. 2025年度研究会合同イベント開催案内（再掲）

第10回研究会合同イベントは、ライフプロデュース研究会が担当します。
AI と聞くと「難しそう」？ 実は「AI」こそが、シニアの暮らしに寄り添う新しいパートナーです。本イベントでは、生成AIの基本と安全な使い方を実践を交えて紹介した後、AIの可能性と課題をテーマにディスカッションします。どなたでも参加できますので、自分に合ったAIとの付き合い方を見つけてください

■テーマ：「今日からできる はじめよう やさしいAIとのシニアライフ」

- 1) 開催日時：2026年3月21日（土） 14：00～16：00
- 2) 開催主体：ライフプロデュース研究会
- 3) 開催場所：ちよだプラットフォームスクウェア401号室
- 4) 対象者：生成AI初心者、未経験者
- 5) 参加費：1,000円（学生無料）
- 6) プログラム
 - ◆オープニングセッション：「生成AIとはなにか？」
渡邊哲哉（当学会会員、民間企業で生成AIを活用している）
 - ◆実践セッション：「生成AIで“できること”」
ライブ実演：渡邊哲哉
 - ◆トークセッション：「AIとどう向き合うか？」
積極派：中村昌子（当学会理事、グリーフカウンセラー、ペットロスカウンセラー）
慎重派：柴本淑子（当学会理事、フリー編集者 元シニア誌『毎日が発見』編集長）
 - ◆クロージング：「今日からの一歩へ」

※ お申し込みは、添付するチラシに掲載いたします。

2. 研究会からのお知らせ

（1）第113回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年2月19日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：コミュニティとアソシエーションという概念から、現実の社会を分析する
- 4) 発表者：出席者全員による討議
- 5) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima@jcom.home.ne.jp) までお願い致します。

(2) 第64回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年2月25日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 報告者：全員で検討
- 4) 概 要：「八巻さん担当講座の内容について(各自宿題持ち寄り)」

※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(3) 第178回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年2月25日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：佐藤清和(厚労省老健局地域づくり推進室・室長補佐)
- 3) テーマ：「介護予防・日常生活支援総合事業について」
- 4) オンラインで開催いたします。

※ 参加を希望される方は、阿部(fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp) にご連絡ください。
資料をお送りいたします。

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(4) 第65回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年2月28日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第一グループ活動室
- 3) 発表者：YNS やまぶき任意後見、アワーズ、シニア学会員
- 4) テーマ：人形劇その他

劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」

死後事務契約等の、人形劇、寸劇など行います。

劇団員募集しています。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme_masumi@yahoo.co.jp) までお願い致します。

(5) 第82回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

東日本大震災 15 年 公開シンポジウム「わすれな草」を開催します。

- 1) 日 時：2026年 3月7日(土) 13:30~16:00
 - 2) 場 所：岩手県上閉伊郡大槌町小槌 27-3-4 シーサイドタウンマスト 2 階
 - 3) 主 催：青森公立大学 経営経済学部みらい学科 野坂ゼミ
共 催：早稲田大学 地域社会と危機管理研究所
 - 4) テーマ：「わすれな草：震災遺族の記憶を記録し伝えることについて《当事者》と語り合う」
 - 5) 開催形式：対面と Zoom のハイフレックス開催
- ※ 参加希望で詳細を知りたい方は松村治(o.matsumura@kurenai.waseda.jp) までお願いします。

(6) 第70回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

現在、当研究会では、3月21日(土)開催予定の、第10回研究会合同イベントへ向けて準備をしております。会員の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

尚、通常の研究会は次回で通算70回目となりますが、通常研究会の開催は、4月以降開催を予定しております。

※ ご連絡ご質問は、中村昌子(nakamurayoshiko6@gmail.com) までお願いします。

※ 4月開催予定の研究会テーマ他詳細については決まり次第お知らせいたします。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第63回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時：2026年1月21日（水） 15:00～17:00

2) 場 所：Zoom 開催

3) 報告者：八巻睦子

4) テーマ：「八巻さん担当 中央区民講座について」

5) 概 要：

講座テーマ：気を付けて！シニアがターゲットのデジタル犯罪

<講座全体の流れ>

1 講義→八巻担当（30分）

クイズを交えて内容構成を考える。

2 グループワークやディスカッションのように参加型でできるもの（60分）

グループワークについて

目的：各自の体験を共有することで犯罪が身近に起こっていることを実感する

方法：4～5名で1G、グループに一人ずつ研究会メンバーが入る

3 全体討議（30分）

<講義資料・グループワークに入れ込みたいこと>

・クイズ（他の例）：総務省やグーグルの例を加工

・チェックリスト：

<次回準備事項>

★デジタル犯罪最新事例の収集（ニュースなど）：全員

★怪しいメールの実例（自分に届いたもの）：全員

（森やす子 記）

(2) 第112回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

1) 日 時：2026年1月22日（木） 15:00～17:45

2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ：AGIL 図式に基づく「自治会・町内会」の機能分析の試み

4) 発表者：大下 勝巳

大下さんは、1. AGIL 図式とは、アメリカの社会学者タルコット・パーソンズが提唱した、社会システムが安定して存続・発展するために必要な4つの機能—Adaptation（適応機能）、Goal Attainment（目標達成機能）、Integration（統合機能）、Latency（潜在的維持機能）を言う。2. 関連の文献を参照し、自治会・町内会の歩みをたどった。3. AGIL 図式に基づいて「自治会・町内会」の活動を分析することにより、今後の活動を維持・存続させる上で解決すべき課題や問題点を明らかにした。4. 結びとして、収集資料に基づくデータの整理内容を通して思うのは、少子高齢化が進む中自治会・町内会単独では解決困難な地域課題が増えて来ている昨今、行政との協同をはじめ NPO や福祉団体など地域の諸団体との連携を踏まえた機能強化を図るべきではないか。同時に、曖昧至極とも言える行政との関係（パイプ役）を改善することが最優先であるように思えると発表された。

濱口座長はコメントとして、研究会ではコミュニティをめぐり、意見交換を重ねてきた。集約すると、1. その成員はなにを目的にしているのか。2. メンバーを選択できるのか。3. 何のために集団を作るのか。4. 集団内での待遇の仕方は生得的か、業績的か。5. 役割分担はどのようにして決められているのか。6. 相互理解は人柄によるのか、規則や決まりにしたがって行われるのか。7. 個人的な感情は尊重されるのか。役割が優先するのか。そして、人の世が続く限り物事を処理する集団類型としてアソシエーションとコミュニティの集団2類型は存続するだろう。と述べられた。

（島村健次郎 記）

(3) 第64回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2026年1月24日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 真澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：人形劇、その他

(鈴木真澄 記)

(4) 第69回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2026年1月28日(水) 17:30~19:30 Zoom開催
- 2) 報告者：渡邊哲哉
- 3) テーマ：3月21日開催予定の「第10回研究会合同イベント」へ向けての打ち合わせ
3月21日(土)開催の第10回研究会合同イベントへ向けての議論は以下のとおりだった。
 - ①ラクスルから届いた300枚のチラシの扱いについて
 - ②地方在住の研究会メンバーの役割について
 - ③3月25日予定だった第70回研究会は中止し、4月以降開催と決定した。
 - ④イベント当日の役割分担
 - ⑤実演内容についての意見交換
 - ⑥本番までの打ち合わせスケジュール計6項目について意見交換し、当日まで更に計4回打ち合わせ日を設定し、相互確認した。
2/8 2/18 2/28 3/14

(渡邊哲哉 記)

(5) 第177回「社会保障」研究会の報告要旨

- 1) 日 時：2026年1月28日(水) 18:00~20:15
- 2) 報告者：石崎浩二(三菱UFJ信託銀行 エクゼクティブ・アドバイザー)
- 3) テーマ：「金融ジェロントロジー～高齢者のお金とwell-being」
- 4) 参加人数：19名

加齢にともなう個人や社会の変化について学際的に研究するジェロントロジー(老年学)の領域において金融ジェロントロジーは極めて新しく、これから創っていく分野である。国際的に見て、日本人の金融リテラシーは非常に低く、金融庁、大学、民間企業が協力して7年前に慶応義塾大学に金融ジェロントロジー研究センターを立ち上げ、学校教育の中に金融教育を取り入れることになった。

狙いは、well-beingなお金の使い方であり、価値観は人それぞれなので、他人と比較しないことが大切。老後のお金について漠然とした不安を抱いている人が多いが、正しい知識があれば恐れる必要はない。しかし年金は目減りし、医療介護費用の負担増は避けられない。将来については予測困難であり、インフレによる預金の目減りや株の下落に耐えられる能力を身に着ける。

70歳を過ぎたら、資産を増やすよりもいかに取り崩すかが大切。物よりも事に投資することで、思い出を増やし、well-beingを高めることができる。認知機能が低下すれば金融資産は死蔵。家族で話し合うことが必要だが、日本人はお金の話をしたがらないし、投資よりも額に汗して働くことを賞賛しがちである。投資については長期保存と分散投資を勧めたい。福祉関係者と金融機関が連携することで、高齢者の詐欺被害を防ぎ、本人にとってより良いお金の使い方ができる。いくつかの自治体では地域包括ケアシステムに金融機関との連携を取り入れている。

参加者からは現在のケアマネに金融知識を求めるのは難しい、現在の成年後見制度はうまく機能していない、学校教育や社会教育に金融ジェロントロジーを取り入れることの必要性などが指摘された。

(袖井孝子 記)

4. 事務局からのお知らせとお願い

■ 『エイジレスフォーラム』の【編集委員】を募集しています。

毎年6月に発行している『エイジレスフォーラム』は、当学会の1年間の活動を報告するアニュアルレポートです。現在、ごく少数の編集委員によって編集作業を行っておりますが、新たに編集作業を手伝ってくださる方を募集しています。

- ① 編集作業に関心のある方
- ② パソコン操作・作業のできる方
- ③ お手元にパソコンをお持ちの方
- ④ 年齢性別・経験の有無は問いません。

※ 年に1冊の発行なので、時間に余裕を持ちながらの分業作業になります。

※ ご興味のある方は、ぜひ、連絡先：e-mail (jaas@circus.ocn.ne.jp)、担当：武者宛にご連絡ください。

< 会員情報変更時のご連絡のお願い >

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

< 2026年3月 JAAS News の発行日 >

次回 JAAS News 第319号の発行日は、2026年3月18日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、3月13日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

JAAS News 編集長 松島悦子

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>